

拓く-ともに創る-<サステナブルな取組> グリーンエネルギー

Green Energy

アジア開発銀行(ADB)が掲げる「サステナブルな会議運営」の実現と、「環境未来都市 横浜」としてのステータス向上につながるため、会場となるパシフィコ横浜の開催期間中の電力の電源を、発電の際にCO₂を排出しない水力発電とする取組を初めて実施しました。



Sustainability at the 50th Annual Meeting

In support of ADB's initiatives to make the Annual Meeting a sustainable event, the city of Yokohama will use green hydroelectric energy for the primary venues of the ADB Annual Meeting. Furthermore, the city government will purchase Certified Emissions Reduction (CERs) credits to reduce the carbon footprint and offset the CO₂ emissions generated by the event. The Japanese government will also provide hybrid cars for eminent participants.

The city of Yokohama is one of the FutureCities selected by the national government for its commitment in addressing the social, economic and environmental challenges brought about by global warming, energy conservation, and population aging. *FutureCity Yokohama* — the city's flagship project, received the [C40 Cities Award 2016](#).

ADB ニュースレターでの紹介文

パシフィコ横浜
2017年4月25日(火)
株式会社横浜国際平和会議場
総務部総務課長 和田由紀夫

第50回アジア開発銀行(ADB)年次総会において、パシフィコ横浜では、サステナブルな取組を実施します。

～ADBでは、同総会の持続可能な運営のため、環境への配慮を重視しています～

パシフィコ横浜(正式名称:株式会社横浜国際平和会議場 所在地:横浜西区、代表取締役社長:鈴木隆)では、「第50回アジア開発銀行(ADB)年次総会」の期間中(本年5月4日～7日)、次のとおりサステナブルな取組を実施します。

- 1. 環境にやさしい100%CO₂フリー電力を導入します。**
 - 期間中にパシフィコ横浜で使用されるすべての電力を、発電の際にCO₂を排出しないクリーンな電力で賄います。
 - 本電力の調達については、東京電力エナジーパートナー株式会社が供給する「アクアプレミアム」を採用します。
 - パシフィコ横浜でこのようなサステナブルな電力を導入するのは、今回が初の試みとなります。
※アクアプレミアムは、東京電力エナジーパートナー株式会社の料金プランです。詳しくは、下記のURLをご覧ください。
https://www.aep.co.jp/ep/act/press/2017/13/02/1306201_00623.html
- 2. 廃棄物の100%リサイクルを目指します。**
 - パシフィコ横浜で排出される廃棄物の100%リサイクルを目指して取り組みます。
 - 参加者に分別廃棄の協力を呼びかけるとともに、当社にて回収した廃棄物の分別作業を徹底します。
 - 分別回収された廃棄物を、協力会社であるJFE環境株式会社の先進的な工場できざまな形にリサイクルを行います。

なお、パシフィコ横浜は、サステナブル(持続可能)な社会の実現を目指して、さまざまな取組を実施しております。その取組をまとめたビデオを ADB 総会期間中、横浜市の展示スペースで放映いたしますので、是非ご覧ください。

ドキュメント: [「Sustainability is Integrated in all that we do」](#)

パシフィコ横浜 公式ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.pacificco.co.jp/pacificco/approach/sustainability/tabid/610/Default.aspx>

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)
総務部総務課 和田
TEL: 045-221-2122 E-MAIL: pr@pacificco.co.jp

記者発表資料(平成29年4月25日、パシフィコ横浜)

燃料電池自動車

Fuel Cell Vehicles

総会期間中に中尾 ADB 総裁及び関係者の専用車両として、燃料電池自動車「MIRAI」を活用することで、低炭素交通の取組をアピールしました。

*日時

平成29年5月2日(火)～9日(火)

*協力

神奈川トヨタ自動車株式会社



燃料電池自動車「MIRAI」

拓く-ともに創る-<サステナブルな取組>

カーボン・オフセット

Carbon Offset

総会期間中の会場(パシフィコ横浜)と会場周辺のホテルでの電力・ガス・水などの使用等に伴うCO₂排出量のうち、3,000トン分のCO₂をカーボン・オフセット(埋め合わせ)しました。

*内容

会議開催支援のため、第50回総会のロゴを掲載した「はまっ子どうし The Water 第50回ADB年次総会横浜開催支援ボトル」を製造し、総会の会議飲料として販売しました。

ボトルの売上の一部を活用し、ADBが支援しているインドでの風力発電プロジェクトにより発行された3,000トン-CO₂の京都メカニズムクレジット(CER;認証排出削減量)を購入し、第50回ADB年次総会の開催に伴うCO₂排出量のうち3,000トン分のCO₂をカーボン・オフセット(埋め合わせ)しました。この取組を通して、ADBが目標とする「サステナブルな会議運営」に貢献しました。



ロゴマーク入りの開催支援ボトル



United Nations
Framework Convention on
Climate Change

DATE: 22 May 2017
REFERENCE: VC/124/2017

VOLUNTARY
CANCELLATION
CERTIFICATE

Presented to

Project 2819 : 50.4 MW Tata Wind Farm - in Maharashtra

Reason for cancellation

To offset GHG emissions in pursuance of the city of Yokohama's carbon offset policies and the "FutureCity" Initiative supported through the sale of "Hamakko-Doshi the water" bottles at the ADB's 50th Annual Meeting held in Yokohama. Beneficiary of the request is "Yokohama Waterworks Bureau"



Number and type of units cancelled

Start serial number: IN-5-189092195-1-1-0-2819
End serial number: IN-5-189095194-1-1-0-2819

3,000 CERs

Equivalent to 3,000 tons of CO₂

The certificate is issued in accordance with the procedure for voluntary cancellation in the CDM Registry. The reason for cancellation included in this certificate is provided by the canceller.

国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局発行のカーボン・オフセット証書